

2019年6月25日

各位

お問い合わせ先
ベインキャピタル
広報担当： 久世
090-5432-6755

ベインキャピタル、ワークスアプリケーションズと HR 事業の取得で合意

Bain Capital Private Equity, LP（そのグループを含み、以下「ベインキャピタル」）はこの度、企業向けソフトウェア開発の株式会社ワークスアプリケーションズ（本社：東京都港区、最高経営責任者：牧野正幸氏）より同社のHR領域関連事業および関連子会社（以下、「HR 事業」）を取得することで合意しました。

ワークスアプリケーションズが2019年8月に会社分割により切り出し、新会社に承継する人事給与ソフトウェア部門等のHR事業をベインキャピタルが新設会社発行の全株式を取得することによりなされるものです。取得金額は公表しておりません。

ワークスアプリケーションズのHR事業は大手企業向け人事給与パッケージ市場で16年連続のシェアNo.1を維持し、1100企業グループ以上に採用されるなど、日本企業の業務インフラとして確固たる事業基盤を確立しています。

ベインキャピタルの杉本勇次日本代表は「同社のHR事業の顧客基盤は強固で優れた製品を有しております。今後、新機能のクロスセルを推進するなど一層の成長に向け、ベインキャピタルとして積極的に支援をしてまいります」と述べています。

ベインキャピタルはまた、営業・マーケティングへの積極投資を通じた新規顧客獲得の回復や昨今のトレンドを踏まえたクラウド型ERPソフトウェア・サブスクリプションサービス（SaaS）の展開強化の面でも、グローバルにおけるソフトウェア関連分野での知見と実績を十分に活用できると判断しています。

ベインキャピタルについて

ベインキャピタル (<http://www.baincapital.com>) は、経営のパートナーとして事業のバリューアップ支援に注力する世界最大級の投資会社であり、総額750億ドル以上に上る数種類のファンドを運用しております。1984年の創業以来、さまざまな業種にわたり、世界中で300社以上のプライベートエクイティ投資や追加的投資を行っており、事業会社・経営コンサルティング会社・投資銀行・弁護士など様々なバックグラウンドを持つ約400名の専門家チームが企業への新規投資や既存投資先の経営支援に従事しています。ベインキャピタルは、本社をボストンに置き、東京、香港、上海、ムンバイ、ニューヨーク、シカゴ、ロンドン、ミュンヘン等に拠点を有しています。